

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2024. 3. 20**☆

60 歳からの人生を準備するための
【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

60 歳からの節約術

発行者：牧野 F P 事務所合同会社代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 588 号***☆

<目次>

- ◆ 今週のテーマ
- ◆ 今週のポイント
- ◆ 編集後記
- ◆ 「人生の添乗員」牧野寿和のプロフィール

:

◆ 今週のテーマ

60 歳からの節約術

:

60 歳以降の収入は、

- ・ 引続き企業に勤めて給与が上がっていく人
- ・ 引続き勤めるけど給与は下がる人
- ・ 個人事業主として収入を得ていく人

- ・ 退職金で 1 次的に収入が増える人
- ・ 65 歳から公的年金を受給する人
- ・ 企業年金を受給する人
- ・ 個人年金保険が支給される人

といったような、
これまでに築き上げた人生により、
収入の額や収入源が変わったり、

複数になったりします。

しかし、これまでより年収が、
下がることが見込まれる、
家計収支においても、
人生のターニングポイントといえます。

そこで今回は、
このような時期に行うべき、
60歳以降の節約術について考えてみます。

お伝えする内容は次のとおりです。

- ・ 現在と今後の収入を考える
- ・ 現在の支出額の確認
- ・ ライフプランニングをする
- ・ 老後の生活のための節約術
- ・ 気持ちは常におおらかに

現在と今後の収入を考える

冒頭の話の続きになりますが、

節約するにも、
まずは、今現在と将来に、

給与や年金
または保険の満期保険金といった収入を、
確認また推測することが大切です。

現在の支出額の確認

収入より把握しづらいのが、
生涯の家計の支出です。

まず、現在の年間の1ヵ月あたりの

支出額を確認します。

また、今後必要となる、
たとえば自宅の修繕費などを、
把握して予算化しておきます。

すると、年金が主な収入となる
老後の生活で、
毎月、いくら支出できるか、

また、いくらで
生活をしなくてはならないのか、
確認ができます。

ライフプランニングをする

また、現役中の夫婦の財布は、
別々でもよかったかもしれませんが、

老後生活では、一般的に夫婦の財布は
ひとつにしないと成り立ちません。

例えば現在の夫の給与は〇〇万円。

今後は、60歳からの給与は〇〇万円で、
退職金〇〇万円の予定。

65歳からの年金受給額は〇〇万円。

貯蓄は現在〇〇〇万円。

といった収入と貯蓄を、
妻も同様に確認します。、

そして夫婦で把握して、

今後は、いつどのような収入があるのか、

また支出があるか、

ライフプランニングをして、
一覧表を作成しておくことです。

老後の生活のための節約術

老後の生活に入り、
現役のままの支出額では、
通常、収入より支出が上回ります。

その分は、
貯蓄や資産形成をしておいた資金から、
取崩します。

その取り崩し額を減少させるためには、

現役の時代から、
年金収入に見合うくらいまで
支出額を減らしておきます。

そのためには、
節約をすることが欠かせません。

節約の方法は、端的に言えば、
現在の支出額を減らすことです。

- ・ 加入している保険の無駄な保障を解約する
- ・ 自家用車を2台から1台にする
- ・ 外食の回数を減らす

といった、一般的な方法に加えて、

たとえば、食料品を買うときも、
単価の高いものを徐々に減らして、
老後の収入で補える商品を買うようにする。

また、なじみの店から、

同じ品物が安価に買える店に変えてみる。

自家用車も買い替えるとき、
見た目よりも維持費の安価な車種にする。

新車ではなく中古車を購入しては
いけない理由がなければ、
中古車を購入してもいいでしょう。

親の代からの習慣で、
年3回剪定してもらっている、
庭や塀の庭木の剪定を、

現在1回10万円で依頼しているのを、
自分は、年に1回でいいと思うのなら、
一度はしてみることです。

つまり、机上で考えるだけではなく、
節約する根拠ある行動をすることです。

気持ちは常におおらかに

このような話を筆者のところに、
老後の生活の相談にみえる方に話して、

スムーズに、
老後の家計の準備ができる家庭もあれば、
なかなか難しい家庭もあります。

難しい原因のひとつは、
その方の気持ちの持ち方です。

たとえば、
上記の庭木の剪定の回数を減らすにも、

自身でどうだこうだと考えることなく、
率直に、自身の考えを庭師に話して、

庭師が、年に複数回の剪定が必要なら、その理由を教えてください。

その理由が、庭木の生育のためでなくどう考えても、

庭師の収入のみが理由なら、

- ・ 剪定の回数を減らしてもらう
- ・ 年1回の剪定をしてくれる業者を探す
- ・ 地区のシルバー人材センターに尋ねてみる
- ・ その庭師が年1回の剪定で済むように庭の規模を縮小する

また、このような話をする事自体に、世間体を気にするようでは、その方の節約は難しいでしょう。

まず、そのような考えをすることで、日頃の無駄遣いの習慣を直していくことです。

なぜなら、自分たちのお金をどのように使おうが、それは自分たちで決めればよいことです。

また、いわゆる「ケチ」になったと言われるのを気にするなら、それこそが「無駄」です。

誰もあなたのことに、常に気には留めていない関心はないからです。

従って、おおらかな節約家に慣れればよいのです。

それができるのは、60年の人生を歩んできたからです。

..*.*.*.*.*.*.*.*.*

◆ 今週のポイント

::*:*:*:*:*:*:*:*:*

「60 歳からの節約術」

これまでに歩んだ人生があるから可能な

節約術です！

:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:

◆ 編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:*:

節約の大敵は我なり！？

:*:

◆ 「人生の添乗員 (R)」 牧野寿和のプロフィール

*:

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる
公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー
創業 21 年目
1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）
以外は、名古屋で居住。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。
業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々の
お金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、
初めてファイナンシャルプランナーの
存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。
これまでに、
延べ 1100 件以上の様々な相談に対応。

相談者へのプランニングの助言と提案を
主な業務とし、
相談者に、安心できる生活が送れるように、
丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ (FP)
協会 CFP (R) 認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士
(資産設計提案業務)
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ (名古屋テレビ) 「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない!
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより愛知、岐阜、
三重県、首都圏や関西にもリモートで
お会いする機会が増えました。

「人生の添乗員 (R)」は、
他人を気にすることなく、相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

◆ 【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

発行：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

◆登録・解除は、ご自身でお願いいたします
こちらから出来ます
<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

◆本メルマガに関するご意見・お問い合わせは
こちらまでお願いいたします
E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野 FP 事務所合同会社
公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

◆記事内容に関してのトラブル等について当方では
一切責任を負いかねます
ご自身の責任でご判断下さい

「人生の添乗員」「人生の行程表」は、
牧野寿和の登録商標です
